

女性アーカイブセンター所蔵展示一覧

- 平成 21 年度・「和田典子資料」
- ・中国女文字の世界
- 平成 22 年度・「塩ハマ子・春秋会コレクション」
- ・第 4 回世界女性会議（北京会議）資料
- 平成 23 年度・平塚らいてうに関する資料（「奥むめおコレクション」
「全国婦人新聞取材写真コレクション」より）
- ・「九重年支子資料」
- 平成 24 年度・市川房枝に関する資料（「全国婦人新聞社取材写真コレクション」より）
- ・「塩ハマ子・春秋会コレクション」
 - ・「稲取婦人学級資料」
- 平成 25 年度・「家庭科の男女必修から 20 年」に関する資料（「和田典子資料」
「全国婦人新聞社取材写真コレクション」より）
- 平成 26 年度・「喜美子さんちの家計簿」
- 平成 27 年度・「男女雇用機会均等法から 30 年」
- 平成 28 年度 特別展示「国立女性教育会館 開館 40 周年展」
- 平成 30 年度 特別展示「女性の歩みを受け継ぐ 女性アーカイブセンター 10 周年展」

女性アーカイブセンター企画展示一覧（カッコ内は共催・協力機関）

平成 20 年度 女性の高等教育の黎明

（実践女子大学、女子栄養大学、津田塾大学、東京女子医科大学、日本女子体育大学）

平成 21 年度 女性科学者の誕生

（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、お茶の水女子大学附属図書館、東京大学柏図書館、
東京大学大学院理学系研究科附属植物園、東北大学史料館、日本女子大学成瀬記念館、
北海道大学文書館、独立行政法人理化学研究所）

平成 22 年度 女性の実業教育のはじまり

（共立女子大学、女子美術大学、嘉悦大学、文京学院大学）

平成 23 年度 化学と歩む

（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、東京大学駒場図書館、東邦大学、日本化学会、
明星大学図書館、ライオン（株）、名古屋大学物質科学国際研究センター）

平成 24 年度 建築と歩む

（UIFA JAPON パイオニア展企画委員会、（株）後藤真理子デザイン事務所、埼玉大学図書館、
女子栄養大学図書館、女性就業支援センター、東京大学生産技術研究所図書室、長谷川逸子・建築計画
工房（株）、空気調和・衛生工学会、東京大学工学・情報理工学図書館、
早稲田大学大学史資料センター）

平成 25 年度 音楽と歩む

(教育史料出版会、女性と音楽研究フォーラム、東京藝術大学附属図書館、
東京大学大学院情報学環・学際情報学府図書室、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、
国立音楽大学附属図書館、サントリーホール、知られざる作品を広める会、
明治学院大学図書館附属日本近代音楽館)

平成 26 年度 映画と歩む

(岩波ホール、川喜多記念映画文化財団、京都文化博物館、小林正樹監督遺託業務世話人会・芸游会、
(株) シグロ、(株) 自由工房、東京国立近代美術館フィルム
ムセンター、日本女性学習財団、パド・ウィメンズ・オフィス、婦人之友社)

平成 27 年度 宇宙をめざす

((株) ALE、宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、NEC、キヤノン、国立天文台、白井市文化センタープラ
ネタリウム)

平成 28 年度 寄席で演じる～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～

(国立劇場、落語芸術協会、日本講談協会、日本浪曲協会 東京かわら版

平成 30 年度 鉄道と女性展 鉄道を動かし、社会を動かす

(埼玉新聞社、岩倉高等学校、小田急電鉄株式会社、株式会社テレビ神奈川、近畿日本鉄道株式会社、
埼玉県平和資料館、鉄道博物館、東京大学社会科学研究所図書室、東京都立中央図書館特別文庫室、
東武鉄道株式会社、一般財団法人東武博物館、広島電鉄株式会社、早稲田大学鉄道研究会)

・・

アーカイブとは、

記録資料そのものとしての定義

個人または組織がその活動の中で作成または収受し蓄積した記録のうち、組織運
営上、研究上、その他さまざまな利用価値のゆえに永続的に保存されるもの

(安藤正人による定義 小川千代子・高橋実・大西愛編著『アーカイブ事典』、大阪大学出版会、2003)
団体、家及び個人が作成し、収受し、保存されてきた記録からなり、手書きや印
刷された紙媒体のもの、電磁的記録のもの、そしてオーラルヒストリーなどから
なっている。(日本アーカイブズ学会「設立趣意書」より、2003)

記録資料の保存管理を行う機関、施設、組織としての定義

人間が活動する過程で作成した膨大な記録のうち、現用価値を失った後も将来にわたって保存する歴
史的文化的価値がある記録史料をアーカイブズという。また、それを行政・経営・学術・文化の参考資
料、諸権利の裏づけのために、保存する文書館等の保存利用施設もアーカイブズといい、記録史料を収
集、整理、保存、公開する文書館の機能もアーカイブズという。(丑木幸男「アーカイブズの科学とは」
より国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学』上、柏書房、2003)

組織または個人がその活動に伴って生み出す記録のうち、重要なものを将来のために保存する施設で
あり、同時に資料そのものも指す。(森本祥子「アーカイブズとは。大学のアーカイブズとは。」より
『東京大学総合博物館ニュース』、18 巻 1 号、2013)

山崎裕子「女性アーカイブと NREC」アーカイブ保存修復研修 2017